

Q 新しい公共交通の運行について

A 町民のニーズを把握し検討していきます



熊木恵子 議員

熊木議員

10月からオンデマンド交通「あいるーと」の運行が始まり、利用者から大変喜ばれています。多くの方が気軽に利用できるよう、さらなる工夫が必要と思いい、今後の運行について伺います。

①利用者からどのような声があったか。

町長

①令和3年10月1日から運行を始め、11月末で205名の利用登録をいただき、利用者からは自宅から乗車できることなど、利用しやすいとの声をいただいています。

熊木議員

②障がい者の運賃対象が障がい者手帳3級は、障がい区分が内部障がいの方のみを対象としている理由は、

町長

②現在の障がい者運賃の対



象については、福祉ハイヤーチケットの交付対象者に準じています。

熊木議員

③70歳以上の料金、障がい者手帳保持者の料金の見直し、回数券や年間パスポートの発行、運行時間の延長等の考えは、

町長

③現在、運行開始から間もないことから、半年が経過した今年度末に利用者へのアンケートを実施し、町民のニーズを把握したうえで事業者、関係機関と協議を行い、利用料金や運行等について検討していきます。

熊木議員

④南幌ハイヤーの営業時間が20時までに変更になったが、町への相談等があったのか。また夜間緊急時等、町民の不安に伝える対応はどのように考えているか。

町長

④町への相談はありません。夜間緊急時の民間交通の利用については、目的地の圏域で営業するタクシーを利用することは可能であり、発信できる情報は限られますが広報等で情報提供していきます。

Q 学校の女子トイレに

生理用品の設置を

A 実態を把握し

学校と協議していきます

熊木議員

コロナ禍で生理の貧困が世界的な問題になっていま

す。生理用品を配布したり、学校や公共施設のトイレに設置する自治体が増えています。思春期の児童生徒の心情や、生理用品を必要としていることを言い出しにくい児童生徒に配慮して、学校の女子トイレ個室に設置するなど工夫が必要

と思いますが、その考えを伺います。

教育長

現在、町内の小・中学校において、児童生徒や保護者からの貧困による生理用品の提供の要望はありますが、トイレの個室への設置については、設置場所や提供方法など学校や児童生徒の実態を把握し、学校と協議していきます。

